

緻密な試験データ分析に基づき

合格講座

[全64回] 2時間35分/回

Web講師フレックス制

どなたでも【通学】横溝休日クラスのZoomライブ配信受講可能

INput

最新動向に対応し毎年改訂

重要ポイントが目で見えて分かる

合格講座
講義録

法律を初めて学ぶ方でも分かりやすいよう体系的に構成された【合格講座 講義録】をメインに、法律学習には欠かせない【合格六法】、さらには、講義録とリンクした【復習用ドリル】も付属。これらの教材を駆使することで知識の定着・確認作業が効率的に進められます。

① 出題状況

本試験で出題された年度に「○」を付けています。「○」の多い分野は、優先して学習する必要があるとところです。

② イメージ図で
理解しやすく

文章だけでは理解しにくい内容については、わかりやすい「図」を使って説明します。

③ MEMO

本文の内容を補足し、理解を促す内容をMEMOとして記載。

④ 過去問をチェック

実際の問題でどのように出題されているかを過去問で確認。

重要科目に比重を置いた実践的学習

最大の特長は、初めて法律を学ぶ方が理解に戸惑うことが多い「民法」「行政法」に重点を置いたカリキュラム。配点の高いこの2科目を重点的に攻略するとともに、独自の基準点をもつ「一般知識」などの科目も合格に必要な知識をしっかりと網羅していきます。

Web受講は「講師フレックス制」で自分に合った講師を選択し受講することができます。さらに横溝慎一郎講師が担当する渋谷駅前本校休日クラスの講義をZoomライブ配信しますので、どなたでも自宅にいながらリアルタイムで通学講義を受講いただけます。(→詳細はP.30-31へ)

LEC東京リーガルマインド

複製・頒布を禁じます

4. 取消訴訟の審理と判決

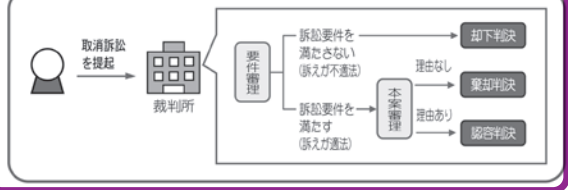
▼出題の状況

13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1

これまで説明してきたのは、取消訴訟の訴訟要件である。論理的な順序としては、裁判所は、(i)まず、訴訟要件を具備しているかどうかを審理する(要件審理)。訴訟要件を具備しているのであれば、次に、(ii)当該処分等に違法があるかどうかを審理する(本案審理)。この審理を経て、裁判所は、判決を下すことになる。

2



※ 要件審理を先に行い、そのうえで本案審理を行うというのは、あくまで論理的な順序であり、実際には同時並行で行われることもある。

1 取消訴訟の審理の対象

(1) 取消訴訟の訴訟物

訴訟における本案審理の対象のことを訴訟物という。

取消訴訟の訴訟物については、係争処分の違法性一般をいい、個々の違法事由ではないと解される。 ⇒ 2019-19-3

3

MEMO

行政庁の裁量処分については、裁量権の逸脱・濫用がある場合にのみ、当該処分が違法となる(30条参照)。

● 過去問 ●

4

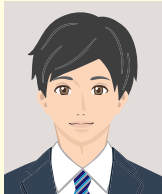
行政庁の裁量行為に属する処分については、取消訴訟の対象とならない。
[1998-38-4]
⇒ × 行政庁の裁量行為に属する処分であっても、裁量権の範囲をこえたまたはその濫用があった場合には、取消訴訟の対象となる(30条)。

救済

行政法

281

message



2024年度行政書士試験 合格者の声

雫石 隆之介さん

テキストには、語句や法令の説明だけでなく、具体例や実際の事例が掲載されており、分かりやすかったです。また、事例にはそれぞれ図やイラストが載っていたので、事例の理解がスムーズにできました。さらに、各单元ごとに試験での出題実績が掲載されていたので、出やすい单元や、そろそろ出題されそうな单元を知ることができました。出題実績が細かく載っていることが、市販の教材との大きな違いだと思います。

考え抜かれたメインテキスト



LECの合格講座講義録だけで、
法令5肢択一式問題の
85%が分かる!
(法令5肢択一式160点満点中136点)

行政書士とは

実践的カリキュラム

オリジナル教材

精読講師陣

受講スタイル・サポート制度

LEC東京リーガルマインド

複製・頒布を禁じます

(2) 違法判断の基準時

取消訴訟の本案で係争処分の違法性が審理される場合、その違法は、どの時点に基づき判断されるか。取消訴訟は、処分の適法性を事後的に審査するものであるから、係争処分がなされた時点に基づき違法性が判断される(最判昭27.1.25)。

(3) 取消しの理由の制限

5 **条文**

第10条 (取消しの理由の制限)

1 取消訴訟においては、自己の法律上の利益に関係のない違法を理由として取消しを求めることができない。

2 処分の取消しの訴えとその処分についての審査請求を棄却した裁決の取消しの訴えとを提起することができる場合には、裁決の取消しの訴えにおいては、処分の違法を理由として取消しを求めることができない。

6 **趣旨**

10条1項は、取消訴訟が自己の権利利益の救済を目的とすることにかんがみ、自己の法律上の利益に関係のない違法を主張できないことを定める。10条2項は、手続上の交通整理のため、裁決取消訴訟において処分の違法を主張できないこと(原処分主義)を定める。10条は、訴訟要件ではなく、**本案審理における原告の主張制限**について定めたものであるから、これに反する主張がなされると、請求が棄却される。

(a) 自己の法律上の利益に関係のない違法の主張制限

取消訴訟の原告は、自己の法律上の利益に関係のない違法を理由として、取消しを求めることができない(10条1項)。すなわち、原告適格が認められても、原告が「自己の法律上の利益に関係のない違法」のみを主張すれば、請求が棄却される。

7

⇒ 2019-19-3
⇒ 2018-42
⇒ 2016-17-7
⇒ 2013-14-5

MEMO (i) ここにいう「自己の法律上の利益に関係のない違法」とは、原告の権利利益を保護する趣旨で設けられたのではない法に違反したにすぎない違法をいう。(ii) 定期航空運送事業免許に対して騒音等の被害を受けている空港周辺住民が提起した取消訴訟において、原告が主張する定期航空運送事業免許の違法事由は騒音被害と無関係であるとして、10条1項により失当であるとした判例がある(最判平元.2.17/新潟空港事件)。

⑤ 条文

法律の学習においては、条文の内容を正確に理解することが重要です。それぞれの条文の内容について、講義のなかで学習していくことになります。

⑦ 関連する過去問を明記

本文を扱った過去問の年度と該当問題を紹介します。

⑥ 趣旨

それぞれの条文が、どのような目的で作られたのかを説明しています。立法趣旨を確認することによって、条文の内容が理解しやすくなります。

2024年度本試験問題と合格講座講義録出題対応表

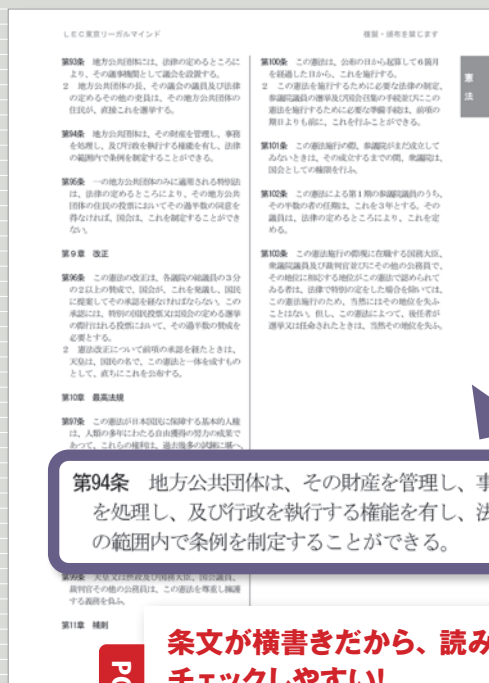
科目	問題	教材掲載ページ
基礎法学	1-イ	208
	1-エ	323
	1-オ	323
	3	95
	4	71
	5-1	199
	5-2	138
	5-3	198
	5-4	197
	5-5	197
	6-1	87
	6-2	214
	6-3	214
	6-5	214
	7-1	220
憲法	7-2	220
	7-3	220
	7-4	225
	7-5	249
	27-1	24
	27-2	25
	27-3	24
	27-4	26
	27-5	25
	28-1	85
	28-2	85
	28-3	518
	28-4	10
	28-5	84
	29-1	511
民法	29-2	511
	29-3	511
	29-4	513
	29-5	511
	30-1	194
	30-2	202
	30-3	192
	30-4	194
	30-5	192
	31-1	278
	31-2	278
	31-3	281
	31-4	279
	31-5	279
	32-1	367
行政法	32-2	368
	32-3	138
	32-4	69
	33-1	422
	33-2	422
	33-3	423
	33-4	425
	34-1	446
	34-2	446
	35-1	510
	35-2	511
	35-3	510
	35-4	510
	35-5	504
	36-1	46
商法・会社法	36-4	46
	36-5	48
	37-ア	61
	37-イ	136
	37-エ	146・147
	37-オ	184
	38-1	165
	38-2	178
	38-3	178
	38-4	178
	38-5	164
	39-1	222
	39-2	222
	39-5	224
	40-1	142
行政書士試験	40-2	79
	40-3	121
	40-4	188
	8-1	77
	8-2	55・339
	8-3	301
	8-4	73
	8-5	69
	9-1	46・172
	9-3	44
	9-4	48
	9-5	141
	10-1	63
	10-3	9
	10-4	123
一般知識	10-5	9
	11-1	128
	11-2	128
	11-3	179
	11-4	140
	11-5	147
	12-ア	164
	12-イ	179
	12-ウ	166
	12-エ	172
	13-1	130
	13-2	140
	13-3	130
	13-4	130
	13-5	140
一般知識	14-1	211
	14-2	215・217
	14-3	211
	14-4	224
	14-5	196
	15-1	195
	15-2	194
	15-3	195
	15-4	196
	15-5	196
	16-ア	199・277
	16-イ	202・280
	16-ウ	234・293
	16-エ	235・299
	16-オ	317・323
一般知識	17-1	269
	17-2	273
	17-3	269
	17-4	270
	17-5	270
	18-イ	293
	18-ウ	293
	18-エ	314
	18-オ	293・305・312
	19-1	244・245
	19-2	244・245
	19-3	244
	19-5	284
	20-エ	346
	21-1	289
一般知識	21-2	333・343
	21-3	343
	21-4	335
	21-5	332
	22-1	381
	22-2	383・441
	22-3	383・441
	22-4	383
	22-5	382
	23-1	426
	23-2	428・430
	23-3	431
	23-4	432
	23-5	432
一般知識	24-1	446
	24-2	441・444
	24-3	441・451
	24-4	412・440
	24-5	444
	25-ア	64
	25-イ	433
	25-ウ	65
	25-エ	320
	26-1	一般知識 161
	26-2	一般知識 161
	26-3	一般知識 161
	26-4	一般知識 162
	26-5	一般知識 162

法律学習の必須アイテム

合格六法

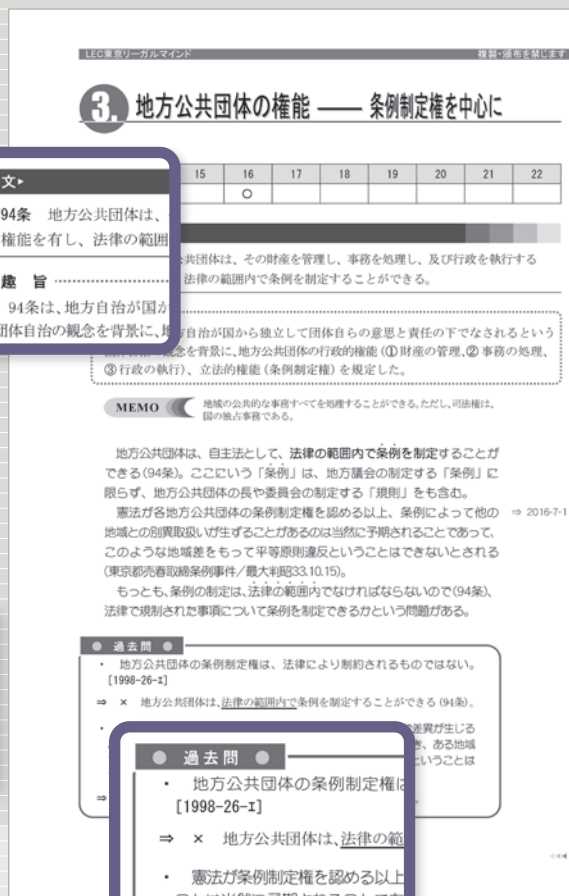
指導歴41年のノウハウがつまった合格バイブル

合格講座 講義録



POINT

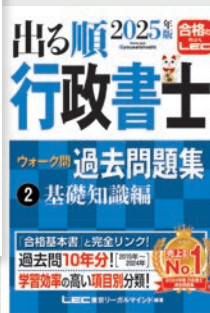
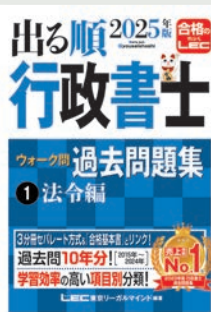
条文が横書きだから、読みやすく
チェックしやすい!!
ラインマーカーのチェックや書き込みに最適
のレイアウトになっています。



体系別過去問演習の決定版

出る順ウォーク過去問題集

[法令編] [基礎知識編]



画像は2025年度版です。2026年度版は2026年2月頃ご自宅へ発送いたします。

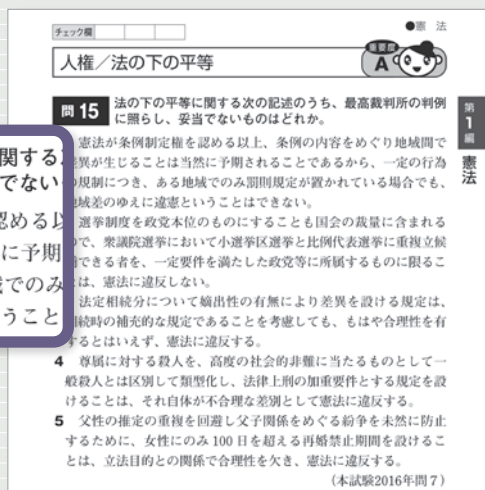
問 15 法の下での平等に関するに照らし、妥当でない

1 憲法が条例制定権を認める以上、
差異が生じることは当然に予期
の規制につき、ある地域でのみ
地域差のゆえに違憲ということ

※「出る順ウォーク過去問題集」をお届けするまでの間は、9年分の過去問を収録した「過去問ピックアップ」をご利用ください。

POINT

学習の早い段階から、過去問対策を!
実際の試験レベルの問題で演習することで本
試験に対応できる、解答力が鍛えられます。



リンク！

理解度・進捗度をチェック

復習用ドリル

NEW!

問題(左)解説(右)が見開きで使いやすい!

LEC東京リーガルマインド 模範・講義を要します

判例：徳島市公安条例事件（最大判昭50.9.10）

事案
道路上の行進などは道路交通法で規制されているところ、徳島市公安条例でもデモ規制として、同じく道路上の行進を規制していた。Xは、徳島市内でデモ行進に参加した際に検問を受け、道路交通法および徳島市公安条例に違反するとして、起訴された。



争点
・ 法律の規制事項を、条例が競合して規制することは94条に反しないか？

判旨

普通地方公共団体の制定する条例が国の法令に違反する場合には効力を有しないことは明らかであるが、条例が国の法令に違反するかどうかは、両者の対象事項と規定文言を対比するのみでなく、それぞれの趣旨、目的、内容及び効果を比較し、両者の間に矛盾抵触があるかどうかによって決しなければならない。例えば、ある事項について国の法令中にこれを規律する明文規定がない場合でも、(A)当該法令全体からみて、当該規定の欠如が特に当該事項についていかなる規制をも施すことなく放置すべきものとする趣旨であると解されるときは、これについて規律を設ける条例は、国の法令に違反することになりうるし、逆に、特定事項についてこれを規律する国の法令と条例とが併存する場合でも、(B)条例が国の法令とは別の目的に基づく規律を意図するものであり、その適用によって国の法令の意図する目的と効果をなら阻害しないときや、(C)両者が同一目的であっても、国の法令が必ずしもその規定によって全国的に一律に同一内容の規制を施す趣旨ではなく、それぞれの地方の実情に応じて、別段の規制を施すことを容認する趣旨であると解されるときは、国の法令と条例との間には矛盾抵触はなく、条例が国の法令に違反する問題は生じないものである。

道路交通法と本件公安条例が重複して集団行進等に対する道路交通秩序維持のための規制を行っている場合であっても、両者に矛盾抵触するところがなく、条例における重複規制がそれ自体としての特別の意義と効果を有し、かつ、その合理性が肯定される場合には、道路交通法による規制は、このような条例による規制を否定、排除する趣旨ではなく、条例の規制の及ばない範囲においてのみ適用される趣旨のものとするのが相当であり、したがって、本件公安条例をもって道路交通法に違反するものということとはできない。

290

290 ▶▶

学習効率を追求したアウトプット教材

科目別答練 / 全日本行政書士公開模試・ファイナル模試

解説冊子が見開きだから、復習がしやすい!

問題(左)と解説(右)を見開きで対応しているので、同時に読み進めることで力がつきます。また、テキストの該当ページも掲載しているので復習しやすくなっています。

LEC東京リーガルマインド 2018 行政書士 合格講座【憲法・基礎法学】 模範・講義を要します

② 人権尊重の原則

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、凡そ国民に必要にして合理的な範囲内において、成人と被成人は、人格の平等を享受する権利を有する。この権利の範囲は、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 天賦の日本国籍であることから基本的な人権は、自由と選挙権は保障されるもの、その他の権利の保障は、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

LEC東京リーガルマインド 2018 行政書士 合格講座【憲法・基礎法学】 模範・講義を要します

② 人権尊重の原則

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、凡そ国民に必要にして合理的な範囲内において、成人と被成人は、人格の平等を享受する権利を有する。この権利の範囲は、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 天賦の日本国籍であることから基本的な人権は、自由と選挙権は保障されるもの、その他の権利の保障は、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

〇〇〇〇〇〇 憲法33条の1は、日本国籍を有する者、外国人については、その保障の範囲と利益の範囲とを指す。

一問一答問題集で知識の定着を図る！
毎講義後、学習した範囲を一問一答形式の問題を解いて理解度を確認。復習すべきポイントが見えてきます。

復習の優先度が分かる！
各問、重要度・難易度を表示。復習の優先度が目で見て分かります。

合格講座講義録【憲法・基礎法学】P.290

行政書士とは

実践的カリキュラム

オリジナル教材

精鋭講師陣

受講スタイル・サポート制度

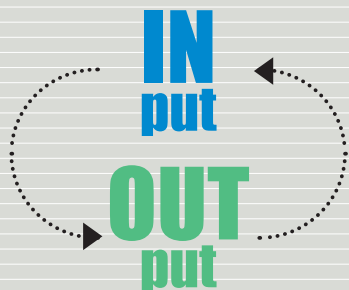
学習効率を追求したアウトプット教材

記述基礎力養成講座

[全4回] 2時間30分／回

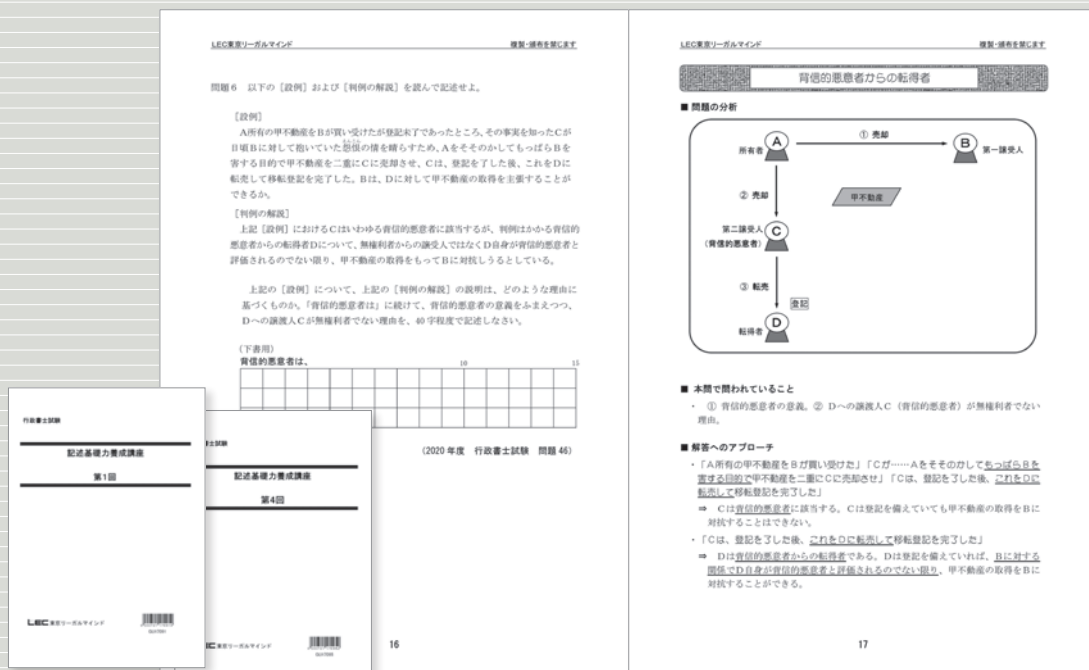
点数を取る為のコツを学ぶ!

記述式問題は、問題に対する解答を 40 字程度で記述する形式です。「択一式問題」を解くために身につけた知識を「記述式問題」を解く際にどう活かせばよいのか、点数がとれる答案を書けるようになるためのコツを問題演習を通して体得します。



各回9問、合計36問出題
過去問+オリジナル問題

記述式問題の「過去問」を中心に、
記述式問題の「解き方」を確認しま
しょう。問題文に示されている情報
を「図」にしています。どのような
事案で、どのようなことを問われて
いるのかを整理しましょう。

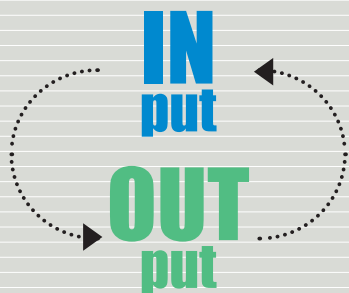


文章理解特訓講座

[全2回] 2時間30分／回

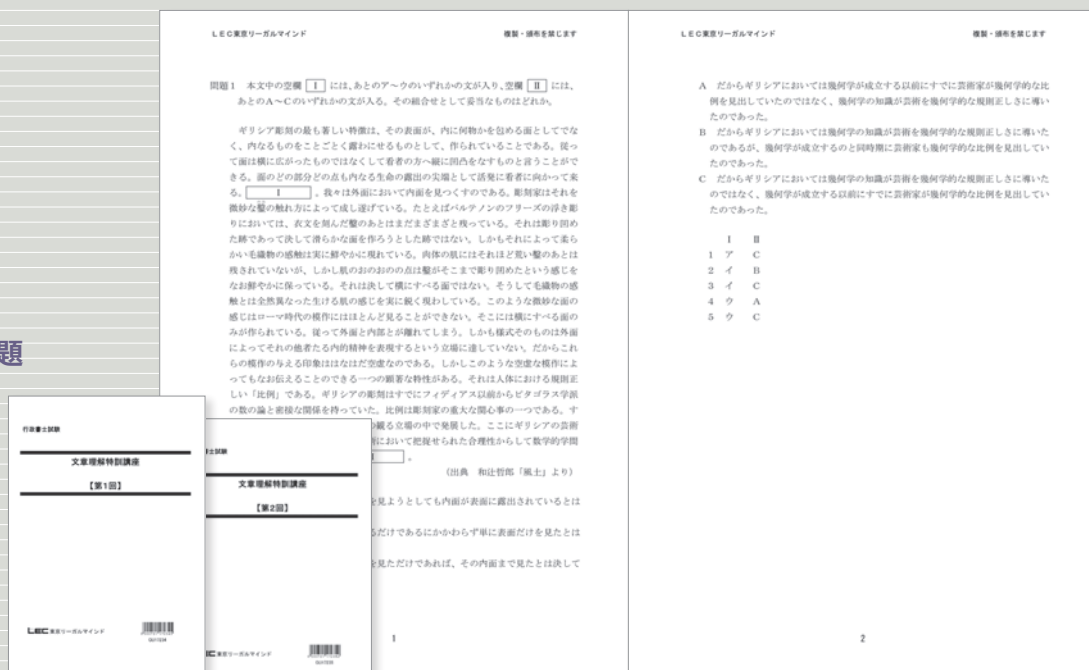
文章を読み解くテクニックを身につけ、得点源に変える!!

文章理解の問題の解き方を習得する講座です。文章理解の問題に20分も30分もかけてはいけません。文章理解は5分以内で解けます！
この講座では解法テクニックをお話していくとともに、法令科目の長文問題、多肢選択式問題、記述式問題にも応用できる力を身につけます。



各回14問、合計28問出題
様々な形式のオリジナル問題

「並べ替え」「空欄補充」から「要旨把握」まで、さまざまなタイプの文章理解の問題の解き方を学びます。一般知識科目の基準点（14問中6問）を突破するためには、例年3問出題される文章理解を確実に得点するのが近道です。



5,689名※に選ばれた業界最大規模の模擬試験! ※2024年ファイナル模試申込者数

全日本行政書士公開模試 ファイナル模試

[全2回] 演習:3時間/解説:3時間

[全1回] 演習:3時間/解説:3時間

科目別答練

[全7回] 演習:1時間30分・解説:2時間

インプット⇒答練・模試⇒復習のサイクルで知識力の定着を図る!

知識のインプットをした後は、問題演習を行うことで、知識の定着度合いが明らかになります。演習でのミスは復習の指標となり、原点に立ち返って復習直すことが更なる力を身につけることに繋がります。

Output

解説冊子が見開きだから、
復習がしやすい!

詳細な成績表で、
自分の弱点を把握できる!

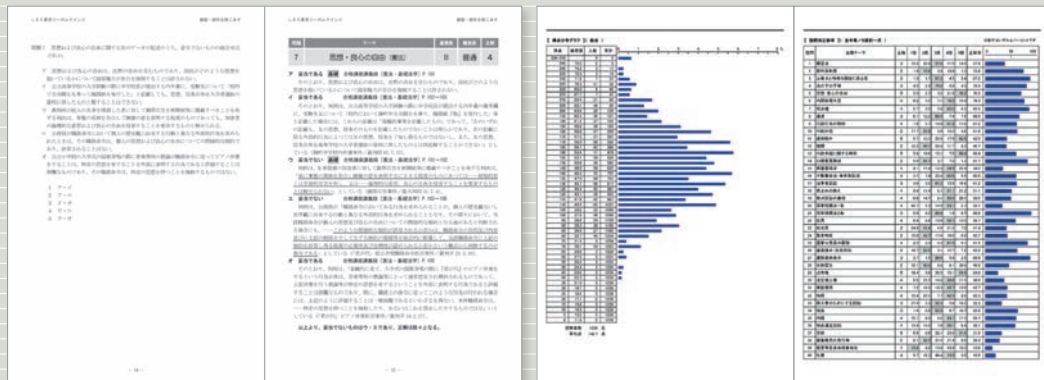
■科目別答練

各回30問、合計210問出題
解答必須の基本問題

科目別の演習なので、全科目の学習を終えていなくても大丈夫。解説冊子には「合格講座講義録」の該当ページも記載されているので、復習を効率的に行うことができます。

■公開模試・ファイナル模試
本試験同様の模擬試験で、
実力把握・実践力強化!

本番さながらの雰囲気・緊張感の中で行う最後のシミュレーション。ここで弱点を炙り出し、本試験での死角をなくします。



POINT

問題(左)と解説(右)を見開きで対応させています。同時に読み進めることができるので、非常に便利です。また、各問、重要度・難易度を表示。復習の優先度が目で見分かります。

POINT

得点分布図はもちろん、選択肢別の回答率、問題毎の正解率など、復習に役立つ情報が満載です。「正解率」の高いものから優先的に復習して、効率的な学習を実現しましょう!

インプットからアウトプットまで オールインワンのパーフェクトコース教材ラインナップ

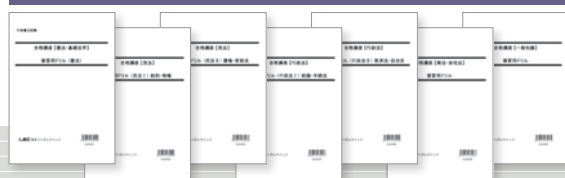
受講ガイド



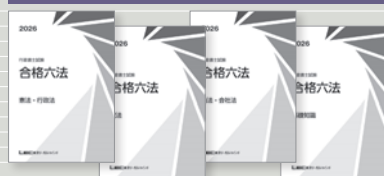
合格講座 講義録



合格講座 復習用ドリル



行政書士合格六法



記述基礎力養成レジュメ



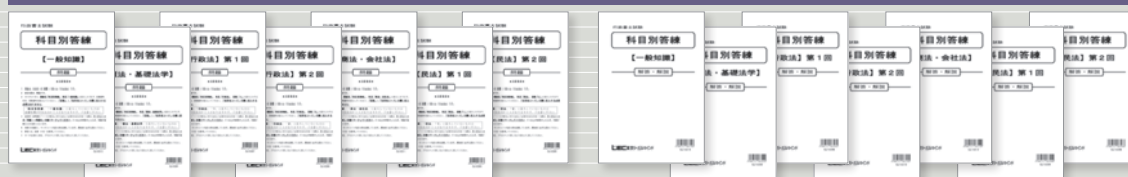
文章理解特訓レジュメ



過去問ピックアップ



科目別答練 問題・解説冊子

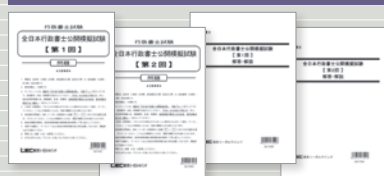


本試験過去問題集

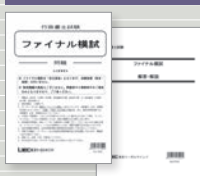


2026年2月発送予定

全日本公開模試 問題・解説冊子



ファイナル模試 問題・解説冊子



教材費は
受講料込み!
追加の費用は
かかりません!

※教材ラインナップの画像は、2025年合格目標向け講座で使用した教材を中心に掲載しております。2026年合格目標講座では表紙のデザインや冊数が一部異なる場合もございますので、あらかじめご了承ください。
※「商法・会社法」「基礎知識」の過去問ピックアップはございません。ウォーク過去問題集をご利用ください。

行政書士とは

実践的カリキュラム

オリジナル教材

精鋭講師陣

受講スタイル・サポート制度